

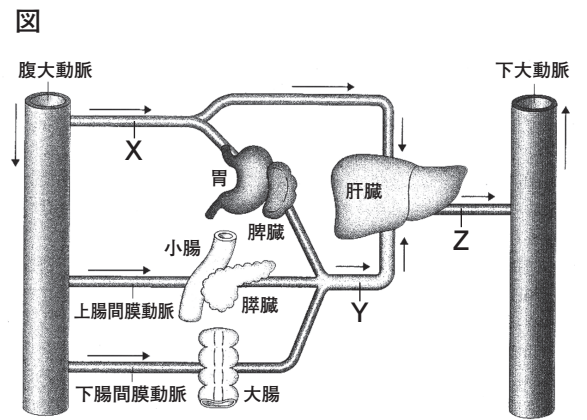
令7 高等学校看護 (5枚のうち1)

(解答はすべて、解答用紙に記入すること)

I 次の事例を読んで、あとの問いに答えなさい。

Aさん(54歳・男性)は、妻(45歳)と子ども2人(15歳、10歳)の4人暮らしである。以前より(a)C型肝炎、肝硬変で通院加療を受けていたが、4年前に肝臓がんと診断された。(b)経カテーテル動脈塞栓療法(TAE)で治療していたが、再発し入退院を繰り返していた。肺や骨にも転移していることを医師より告知されており、今回は症状を緩和するための入院となった。疼痛に対し、(c)麻薬鎮痛薬を使用している。Aさんは、望みを捨てきれず現在も会社に籍をおいて休職している。

- 右の図は、肝臓を流れる血液の模式図である。図中のX～Zの名称を、それぞれ書きなさい。
- 次の文章は、肝臓がんについて説明したものである。文中の(①)～(④)に入る語句として適切なものを、あとのア～キからそれぞれ1つ選んで、その符号を書きなさい。ただし、同じ記号には、同じ語句が入る。

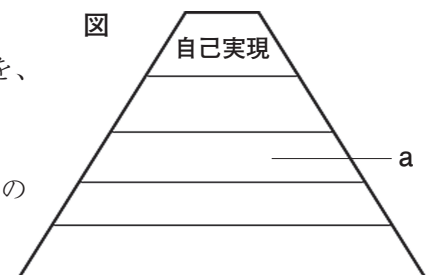


肝臓に原発する原発性肝がんは、(①)と(②)とに分けられる。(①)は、50～60歳代の(③)性に多く、その90%は肝硬変ないしそれに近い慢性肝炎を伴う。(④)あるいはC型肝炎ウイルスとの関連が深く、現在では、70～80%にC型肝炎ウイルスの関与がみとめられている。

- ア 自己免疫性 イ 胆管細胞がん ウ 女 エ 男
オ A型肝炎ウイルス カ B型肝炎ウイルス キ 肝細胞がん
- 肝機能障害による門脈圧亢進症に関連しないものを、次のア～オから1つ選んで、その符号を書きなさい。
ア 黄疸 イ 腹水 ウ 脾腫 エ 腹壁静脈の怒張 オ 食道静脈瘤
 - 次の文章は、下線部(a)を説明したものである。()に入る適切な語句を書きなさい。
C型肝炎は、ヒトからヒトへ()を介して病原体が伝播する。
 - 下線部(b)による治療や看護の実施として適切なものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。
ア 穿刺部位は上腕動脈を第一選択とする。
イ 造影剤の注入によるアレルギーが起こる可能性はない。
ウ 治療前、禁飲食は必要ない。
エ 穿刺による観血的治療であり、無菌操作が必要である。
 - 下線部(c)の副作用として、非常に高い頻度で継続的に起こる症状として適切なものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。
ア せん妄 イ 排尿障害 ウ 便秘 エ 呼吸抑制
 - 下線部(c)について、「WHO がん疼痛ガイドライン」の内容として適切なものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。
ア 安全かつ適切ながん疼痛治療が維持できていれば、定期的に評価を行う必要はない。
イ 鎮痛薬には、貼付薬・経口薬・坐薬・持続的皮下注射・持続静脈注射などがあるが、第一選択として貼付薬を使用する。
ウ 麻薬鎮痛薬は、副作用があるので、痛みが出てから投与する。
エ がん疼痛マネジメントは薬物療法だけでなく、心理社会的および精神的ケアも含まれる。
 - 余命3カ月の終末期となり、強く倦怠感が出現しているAさんを実習中の生徒が受け持つことになった。受け持ち5日目、できるだけ傍にいた生徒であったが、「Aさんから『病気がなかなかよくなりませんし、今後どうなるのかな。もう頑張れない。』と話され、どのように対応したらいいのかわからなくて…」と引率教員のあなたに生徒から相談があった。Aさんの苦痛緩和を目的とした適切な対応について、引率教員として生徒にどのように指導、助言するか、ポイントを書きなさい。
 - Aさんは悪液質となり、身長170cm、体重50kgとなった。この時の体格指数(BMI)を計算する式を書き、答えを四捨五入して整数で書きなさい。

II 看護学概論について、次の問いに答えなさい。

- 右の図は、心理学者マズローの欲求段階説を表したものである。図中のaに入る適切なものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。



- ア 愛と集団所属 イ 安全と安心 ウ 生理的欲求 エ 自尊心・他者による尊敬
- 精神科医キューブラー＝ロスの「死にゆく人の心理過程」の第3段階目として適切なものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。
ア 怒り イ 抑うつ ウ 否認と隔離 エ 取り引き
 - 医療安全に関連する組合せとして適切でないものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。
ア 医療の質の保証 —— リスクマネジメント イ 事故防止対策 —— インシデントレポート
ウ 手術時の安全対策 —— タイムアウトでの患者確認 エ 院内感染対策 —— 被曝防護の3原則
 - 看護に関する理論家と理論の組合せとして適切なものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。
ア ジェイス＝トラベルビー —— 人間対人間の看護 イ ヴァージニア＝ヘンダーソン —— セルフケア理論
ウ ヒルデガード＝E＝ペプロウ —— 看護の基本となるもの エ ドロセア＝E＝オレム —— 適応レベル理論

令7 高等学校看護 (5枚のうち2)

(解答はすべて、解答用紙に記入すること)

Ⅲ 次の事例を読んで、あとの問いに答えなさい。

1人暮らしの利用者Bさん(80歳・女性)は要支援2、(a)糖尿病、膝の痛みがあり内科と整形外科の2つの病院を受診している。軽度の認知症があり2週間前から(b)内服薬の飲み間違いがあり、主治医から訪問看護師に服薬管理の依頼があった。遠くに住む息子は母親の暮らしの継続について心配があり、介護保険が使える施設の利用を考えている。(c)生徒は、訪問看護師に同行して実習することになった。

1 下線部(a)について、膵臓の構造と機能を説明した次の文中の(①)～(⑦)に入る適切な語句を、それぞれ書きなさい。また、文中の(⑧)に入る適切な語句を、選択肢から1つ選んで書きなさい。ただし、同じ記号には同じ語句が入る。

膵臓の内分泌部は(①)と呼ばれ、3種類の細胞によって構成され、それぞれA(α)細胞からは(②)が、B(β)細胞からは(③)が、D(δ)細胞からはソマトスタチンが分泌される。

(③)は、血糖値が上昇すると分泌される。(③)は、肝細胞や筋細胞に(④)を取り込ませ、(④)がいくつもつながった(⑤)を合成させて糖を貯蔵させる。また、(③)は、脂肪細胞にも(④)を取り込ませて(⑥)を合成させ、肝臓や筋における(⑦)の合成も促進する。膵臓からの(③)分泌の低下や全身の細胞の(③)の感受性低下により、細胞の(④)の取り込みが十分にできなくなると、血糖値が(⑧ 上昇・下降)し、糖尿病となる。

2 下線部(b)について、Bさんがセルフケアを維持して服薬を管理していくための訪問看護師の支援として最も適切なものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。

ア 内服指導を診療科ごとに依頼する。

イ Bさんの訴えに「どの部屋にいても飲めるようにしたい」とあったため、自宅での内服薬の保管場所を分散する。

ウ 内服薬を1回分ごとにまとめる。

エ 飲み忘れても良いように服薬回数を増やす配慮が必要である。

3 Bさんの認知症の状態や介護度から、条件に合った施設として適切なものを、次のア～オから1つ選んで、その符号を書きなさい。

ア 健康型有料老人ホーム イ 精神科病院 ウ 特別養護老人ホーム エ 介護老人保健施設 オ グループホーム

4 下線部(c)について、訪問前に、教員が生徒に指導するマナーの内容として適切なものを、次のア～オから2つ選んで、その符号を書きなさい。

ア 靴を脱ぐ時は、部屋の方に背を向けずに脱ぎ、靴の向きを変え、靴は真ん中に揃えて置く。

イ 座布団を勧められても、座ってはならない。

ウ 移動するとき、座布団や療養者の布団、敷居を踏まない。

エ お菓子やお茶のもてなしは受けても良い。

オ 洗面所などで手を洗う時に、ついでに家の中(トイレや風呂場など)を覗き見したりしない。

Ⅳ 災害看護について、次の問いに答えなさい。

1 災害医療について述べた文として適切なものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。

ア 災害拠点病院は市町村が指定する。

イ 高齢者、障害者、乳幼児は要配慮者である。

ウ 災害派遣医療チーム(DMAT)は災害発生後の亜急性期に現場活動を開始する。

エ 日常の医療と大きく異なるので、専門職の協働は必要ない。

2 災害直後、次のような傷病者が救護所に運ばれてきた。START法によるトリアージを行うとき、判定される色を書きなさい。

倒れてきた家具で右足を負傷し、歩行が困難である。呼吸・脈拍は正常で従命反応はある。

3 地震発生後の時期と災害看護活動の組合せとして適切なものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。

ア 地震発生直後から数時間 ―― 食中毒の予防 イ 災害発生後1週間～1か月 ―― 生活不活発病の予防

ウ 災害発生後1か月以降 ―― 救命治療 エ 災害発生後3日～1週間 ―― 心的外傷後ストレス障害(PTSD)のケア

4 災害後、避難所の集団生活において感染症が急速に拡大することがある。その主な理由を3つ書きなさい。

5 被災者には外国人も含まれる。日本語の理解が不十分な外国人は、言葉の壁に直面する。右の図のような、案内等に用いられる、言葉がわからなくても視覚的に理解しやすい図形のことを何というか書きなさい。



6 災害発生から5日目、あなたが勤務している高校看護科の生徒が「私達にもできることはある。避難所にいる方のこころのケアをしたい。」とあなたに話した。こころのケアを行う際の話し方・接し方のポイントとして適切なでないものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。

ア 親身になって話を聞く。

イ こころの問題以外には触れない。

ウ 被災者の感情を受け止める。

エ 希望が持てるよう、実現可能なアドバイスをする。

令7 高等学校看護 (5枚のうち3)

(解答はすべて、解答用紙に記入すること)

V 次の事例を読んで、あとの問いに答えなさい。

Cさん(20歳・女性)は、単文しか話せない特徴があり、高校時代に学校生活で困ることがあったため、週1回の通級による指導とスクールカウンセラーによるカウンセリングを受けていた。スクールカウンセラーからは精神科の受診を勧められていたが、受診することなく卒業した。ものづくりが没頭するほど好きであることから、卒業後は製造業で働き始めたが、(a)仕事上のトラブルで上司や同僚から叱責を受けたことをきっかけに仕事を無断で休むようになり、最近では家で引きこもるようになった。心配になった母親に付き添われて精神科を受診したところ、自閉症スペクトラム障害及び(b)うつ状態と診断され、入院となった。

1 次の文章は、自閉症スペクトラム障害について説明したものである。文中の(①)～(⑥)に入る語句として適切なものを、あとのア～スからそれぞれ1つ選んで、その符号を書きなさい。ただし、同じ記号には同じ語句が入る。

自閉症スペクトラム障害は、アルファベットで(①)とも言われる。この障害の要点は、社会的コミュニケーションおよび(②)的相互反応における(③)的な欠陥であり、限定された反復的な行動・興味・活動をもつとされる。その一つに、(④)刺激に対する過敏さまたは鈍感さ、または環境の(④)的側面への並外れた興味がある。

精神発達には「(⑤)の発達」と「(⑥)の発達」という2つの水準があるとし、この水準のうち「(⑤)の発達」全般の遅れが前面に出るのが「知的障害」であり、「(⑥)の発達」全般の遅れが前面に出るのが自閉症スペクトラム障害である。

ア 行動 イ 対人 ウ 積極 エ 一時 オ 持続 カ ADHD キ ASD
ク LD ケ 運動 コ 人間関係 サ 認識 シ 身体 ス 感覚

2 下線部(a)について、職場でCさんにみられる可能性が高い行動として適切なものを、次のア～エから1つ選び、その符号を書きなさい。

- ア 製品の数を、正確に数えられない。
- イ 自らが必要な時のみ異常な近づき方で同僚に関わるが、職場の同僚からの申し出に対して上手く反応できない。
- ウ そわそわして落ち着きがなく、製造業上の順番やルールを守ることができない。
- エ 仕事中に突然意識を失って倒れる。

3 下線部(b)について、入院後の精神療法として適切なものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。

- ア 今の苦痛は「うつ」という状態によるもので、回復できない疾患であることを伝える。
- イ ストレスを回避するため、退職を考えるように促す。
- ウ 周囲の人からの励ましは効果的であり、面会を促す。
- エ 病気の始まりと回復期に自殺が多くみられるため、「つらさのあまり死や自傷が解決だと思われることが多いが、あなたは大丈夫ですか」とはっきりと問い、自殺や自傷をしないしてほしいと約束する。

4 下線部(b)にみられる諸症状として適切でないものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。

ア 易疲労感 イ 快楽消失 ウ 脱力発作 エ 抑うつ気分

5 入院当日、生徒がCさんを受け持つことになった。入院直後、Cさんの母親は、「高校でも困っていました。私の育て方に問題があったのでしょうか。親としてどうしたら良かったのか…仕事が続かないあの子は本当にどうしようもない。」と初対面の生徒に話した。引率教員のあなたは、生徒から「どのように話したら良いか分からず部屋を出てきた。」と聞いた。引率教員として生徒に指導、助言する内容として適切でないものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。

- ア 家族の悩みを理解し、まずは共感する姿勢が大切であると理解させる。
- イ 医療関係者(医師・受け持ちの看護師)に情報提供し、家族に病状説明を行ってもらうように促す。
- ウ 病気になったのは、養育の失敗や家族内の葛藤のせいではないことを理解させる。
- エ 家族の発言に対して、Cさんには相談せず、医療者と相談するように促す。

令7 高等学校看護 (5枚のうち4)

(解答はすべて、解答用紙に記入すること)

VI 次の事例を読んで、あとの問いに答えなさい。

Dさん(16歳・女性)は、中学校の3年生から、毎月、月経の時期になると、症状が酷く起き上がれない状態になることから学校生活に支障を来し、学校を休むことが多かった。高校に入学したDさんは、「これからの学校生活が心配」と悩んでいる。

1 次の文章は、月経周期の調節機序について説明したものである。文中の(①)～(⑤)及び(⑦)に入る適切な語句や数値を、それぞれ書きなさい。また、文中の(⑥)に入る適切な語句を、選択肢から1つ選んで書きなさい。ただし、同じ記号には同じ語句や数値が入る。

卵巣ホルモンの分泌が低下して月経になると、視床下部から分泌される(①)ホルモンの指令により、下垂体から(②)ホルモンが分泌される。(②)ホルモンは卵巣を刺激し、発育した卵胞からは(③)が分泌され、子宮内膜が増殖する。卵胞が成熟し、(③)の分泌がピークに達すると、そのフィードバック作用により、下垂体は黄体化ホルモンを大量に分泌する。これをLHサージという。黄体化ホルモンは、(④)を促すと同時に、卵胞の黄体化を指令する。黄体から分泌される(⑤)は子宮内膜を分泌期にし、妊娠準備状態をつくり、同時に体温は(⑥ 高・低)くなる。黄体の寿命は約(⑦)日で終わり月経となる。

2 Dさんにみられる下線部の特徴から考えられる月経随伴症状を何というか書きなさい。

3 2の症状の特徴として適切なものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。

ア 月経開始の数時間前や直後にみられるけいれん性・周期性の下腹部痛

イ 月経前3～10日にみられるイライラ・のぼせなどの症状

ウ 月経前3～10日にみられるけいれん性・周期性の下腹部痛

エ 月経開始の数時間前や直後にみられる精神症状と乳房症状

4 Dさんの症状への対処法やDさんへのはたらきかけの説明として適切でないものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。

ア 温浴法や足浴などは腹部または全身をあたため血液循環を促すため、子宮筋の虚血を改善し、低酸素による発痛物質産生を抑制する効果がある。

イ 体験している症状は個人差があること、適切な対処法で軽減させながら、ある程度我慢は必要であることを伝える。

ウ 鎮痛剤の使用は、症状改善によって日常生活を快適に送れること、そして身体に害を及ぼすものではないことを伝え、まずは市販の鎮痛薬などで症状のコントロールが図れるよう促し、コントロールが困難な場合は、医師の診察を勧める。

エ 本人が、月経に伴う症状を理解し、その特徴や経過、対処法などの知識を得ることは、症状に対する恐怖・不安感を緩和する効果がある。

5 Dさんの発達段階における、心理学者エリクソンが提唱する発達課題を、解答欄に合わせて書きなさい。

VII 次の文章は、高等学校学習指導要領(平成30年3月告示)に示された看護科の目標である。文中の(①)～(⑥)に入る語句として適切なものを、あとのア～スからそれぞれ1つ選び、その符号を書きなさい。

看護の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、看護を通じ、地域や社会の保健・医療・福祉を支え、人々の健康の保持増進に寄与する職業人として必要な資質・能力を次の通り育成することを目指す。

(1) 看護について体系的・系統的に理解するとともに、関連する(①)を身に付けるようにする。

(2) 看護に関する(②)を発見し、職業人に求められる(③)観を踏まえ合理的かつ創造的に(④)する力を養う。

(3) 職業人として必要な豊かな(⑤)性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、人々の健康の保持増進に主体的かつ(⑥)的に取り組む態度を養う。

ア 個別

イ 解決

ウ 死生

エ 協働

オ 興味

カ 課題

キ 客観

ク 主観

ケ 創造

コ 人間

サ 知識

シ 技術

ス 倫理

令7 高等学校看護解答用紙 (5枚のうち5)

| | | |
|----|--|--|
| 総計 | | |
| | | |

看護

| | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|---|-----|--|--|---|---|-----|---|---|---|---|--|---|--|
| I | 1 | X | | | | | Y | | | | | | | |
| | | Z | | | | | | | | | | | | |
| | 2 | ① | | | ② | | | ③ | | | ④ | | | |
| | 3 | | | | | 4 | | | | | | | | |
| | 5 | | | | 6 | | | | 7 | | | | | |
| | 8 | | | | | | | | | | | | | |
| | 9 | 式： | | | | | 答え： | | | | | | | |
| II | 1 | | | | 2 | | | | 3 | | | | 4 | |
| III | 1 | ① | | | | ② | | | | ③ | | | | |
| | | ④ | | | | ⑤ | | | | ⑥ | | | | |
| | | ⑦ | | | | ⑧ | | | | 2 | | | | |
| | 3 | | | | 4 | | | | | | | | | |
| IV | 1 | | | | 2 | | | | 3 | | | | | |
| | 4 | | | | | | | | | | | | | |
| | 5 | | | | | 6 | | | | | | | | |
| V | 1 | ① | | | | ② | | | | ③ | | | | |
| | | ④ | | | | ⑤ | | | | ⑥ | | | | |
| | 2 | | | | 3 | | | | 4 | | | | 5 | |
| VI | 1 | ① | | | | | ② | | | | | | | |
| | | ③ | | | | | ④ | | | | | | | |
| | | ⑤ | | | | | ⑥ | | | | | | | |
| | | ⑦ | | | | | 2 | | | | | | | |
| | 3 | | | | | 4 | | | | | | | | |
| | 5 | の確立 | | | | | | | | | | | | |
| VII | ① | | | | ② | | | | ③ | | | | | |
| | ④ | | | | ⑤ | | | | ⑥ | | | | | |

| | | |
|---|--|--|
| I | | |
| | | |

| | | |
|----|--|--|
| II | | |
| | | |

| | | |
|-----|--|--|
| III | | |
| | | |

| | | |
|----|--|--|
| IV | | |
| | | |

| | | |
|---|--|--|
| V | | |
| | | |

| | | |
|----|--|--|
| VI | | |
| | | |

| | | |
|-----|--|--|
| VII | | |
| | | |

令7 高等学校看護模範解答 (5枚のうち5)

| | |
|----|-----|
| 総計 | 200 |
| | |
| | |



| | | | | | | | | | | |
|-----|----------------------|---|---------------|---|---|--------|-------|----------|-------|--|
| I | 1 | X | 腹腔動脈 | | | Y | 門脈 | | | |
| | | Z | 肝静脈 | | | | | | | |
| | 2 | ① | キ | ② | イ | ③ | エ | ④ | カ | |
| | 3 | ア | | | 4 | 血液 | | | | |
| | 5 | エ | | 6 | ウ | | 7 | エ | | |
| | 8 | <ul style="list-style-type: none"> ・ Aさんの「もう頑張れない」という言葉に対し、安易に励ましや否定はせず感情表出を促し、共感・傾聴しながら受容的にかかわる。 ・ 適切な言葉が見つからなくても、患者の思いを感じながら傍で座っていることも有用な非言語的コミュニケーションで患者の支えになっていることを内省させる。 | | | | | | | | |
| | 9 | 式： $50 \div (1.7)^2$ | | | | 答え：17 | | | | |
| | II | 1 | ア | | 2 | エ | | 3 | エ | |
| | | | ア | | | エ | | | ア | |
| III | 1 | ① | 豚島 (ランゲルハンス島) | | ② | グルカゴン | | ③ | インスリン | |
| | | ④ | グルコース | | ⑤ | グリコーゲン | | ⑥ | 脂肪 | |
| | | ⑦ | タンパク質 | | ⑧ | 上昇 | | 2 | ウ | |
| | 3 | オ | | | 4 | ウ | | オ (順不同可) | | |
| IV | 1 | イ | | 2 | 黄 | | 3 | イ | | |
| | 4 | <ul style="list-style-type: none"> ①不衛生な環境下で病原体が増加しやすい ②感染経路を完全に遮断するのが困難である ③感染リスクの高い要配慮者が、同じ環境下に暮らしている | | | | | | | | |
| | 5 | ピクトグラム | | | 6 | イ | | | | |
| | 1 | ① | キ | | ② | イ | | ③ | オ | |
| | ④ | ス | | ⑤ | サ | | ⑥ | コ | | |
| VI | 2 | イ | | 3 | エ | | 4 | ウ | | |
| | | イ | | | エ | | | ウ | | |
| | 1 | ① | 性腺刺激ホルモン放出 | | | ② | 卵胞刺激 | | | |
| | | ③ | エストロゲン | | | ④ | 排卵 | | | |
| | | ⑤ | プロゲステロン | | | ⑥ | 高 | | | |
| | | ⑦ | 14 | | | 2 | 月経困難症 | | | |
| 3 | ア | | | 4 | イ | | | | | |
| 5 | 自我同一性 (アイデンティティ) の確立 | | | | | | | | | |
| VII | ① | シ | | ② | カ | | ③ | ス | | |
| | ④ | イ | | ⑤ | コ | | ⑥ | エ | | |

| | |
|---|----|
| I | 50 |
| | |
| | |

| | |
|----|---|
| II | 8 |
| | |
| | |

| | |
|-----|----|
| III | 42 |
| | |
| | |

| | |
|----|----|
| IV | 27 |
| | |
| | |

| | |
|---|----|
| V | 21 |
| | |
| | |

| | |
|----|----|
| VI | 40 |
| | |
| | |

| | |
|-----|----|
| VII | 12 |
| | |
| | |